

新キャンパスが誕生します。



## 武蔵小杉からの新たなステージ 付属校であることの可能性

2016年度 中高同時共学化・新校舎建築



## 様々な交流や活動を支え、安全・安心で地域に根ざした教育環境づくり

2016年度に男女共学となる法政大学第二中・高等学校は、法政大学の「自由と進歩」の校風のもと、付属校が持つ可能性を最大限に追究した学校づくりを行います。

70年を超える伝統を引き継ぎ、よき校風はそのままに、「人」との出会いやつながりを大切にしながら、互いを認め合い、切磋琢磨しながら自己を切り開くことができる新たなキャンパスがいよいよ誕生します。

新校舎建築にあたっては、本校の伝統や特徴を最大限に生かし、未来に向かって発展できるキャンパスづくりを目指して計画してきました。付属校ならではの「学び」を追究できる環境、そして様々

### 付属校ならではの「学び」を豊かに 探求する力を育てる拠点～図書館

調べる力・考える力・討論する力・発表する力を育てるための拠点として「図書館」を位置づけます。

従来の「読書の間」としての図書館機能だけでなく、学習・情報・読書センター型の機能を兼ね備えた図書館を計画しています。授業やクラブ活動など様々な取り組みに利用可能な学習室やインターネット上の情報などさまざまな情報ソースにアクセスできる PC 教室が隣接した「総合メディアセンター」としての図書館が誕生します。



図書室内にあるガラス張りの学習空間。

### 様々な学びに対応した教室設計

●ICT 環境の整った教室環境  
付属校ならではの「学び」の特徴として、討論・発表など様々な形態の授業を展開します。新校舎では、さらに深化・発展させるべく、全教室・実習室に ICT 環境を整備します。全教室・実習室には、有線・無線 LAN 環境をはじめ、視聴覚機器や電子黒板機能を兼ね備えたプロジェクターを設置し、様々な学びが展開できる充実した教室環境となります。 ※ICT (情報通信技術)



自然採光、自然通風を十分に取り入れた開放的な教室。

な自主活動を思う存分展開できる環境、まさに多種多様な交流空間や活動空間にあふれた多機能な新校舎を建築します。

東日本大震災以降、安全で安心な学校環境づくりが急務の課題です。新しいキャンパスでは、安全・安心の生活・学習環境づくりと地域の防災拠点となる環境整備を行います。

法政大学そして二中高のシンボルとして生徒・教職員・卒業生・地域の方々から広く親しまれてきた現在の時計塔は、その意匠を引き継ぎ、新たな時計塔として生まれ変わります。

歴史をつむぎ、これからの未来を見守る新時計塔と共に、武蔵小杉からの新たなステージがここに誕生します。



### ●小教室・大教室・多目的教室の充実

クラス人数を半分に分けて実施する分割授業や、興味関心に応じた多彩な選択授業に対応した小教室、講演会・発表などに対応した大教室・多目的教室など、様々な取り組みに対応可能な教室を整備します。多種多様な活動の環境を保證する教室の充実を図ります。

### ●豊かな実験・実習・体験を育む場

豊かな実験・実習・体験を育む場として、教科の専門性や特性に応じた実験室・実習室を充実させます。中学少人数クラスに合わせた実験室・実習室の拡充を図ると共に、施設設備を充実させます。また、国際交流室、和室、そして書道教室を新設します。



1、2階教員室に面した吹抜けの学習ラウンジ。何時でも気軽に先生に相談、学習できる明るく開放的な交流スペース。

### 交流を創出する「学び」の場

大規模校でありながらも、きめの細かい指導を展開するために、日常的な教員とのコミュニケーションが行える「学習ラウンジ」を教員室前に設置します。生徒への個別指導やクラス・クラブのミーティングなど、自学自習を支援する場・生徒同士や生徒と教員との交流の場となります。

また、教員室周辺や校舎各階には面談室を多数配置し、多様な生徒を丁寧に指導している環境を整備します。

### 文化・スポーツの新たな高みへ

日本でも有数のスポーツ・文化活動を持つ法政二中高の新キャンパスにふさわしい、広大で充実した施設が誕生します。川崎・武蔵小杉の文化活動・スポーツの拠点としての役割を果たせるよう整備をしていきます。

### 文化芸術の発信拠点としての総合文化施設・講堂・多目的教室・展示室

1300人規模の講堂を含めた総合文化ゾーンは、教科活動だけでなく文化系クラブの活動の活動拠点として、さらには地域社会へ向けた文化芸術の発信拠点として機能させます。

### 体育施設・トレーニングセンターの充実、全面人工芝のグラウンド

バスケットボールコート 3面の広さを持つアリーナの他、剣道場、体育室、屋外プール、そしてトレーニングセンターを兼ね備え、科学的トレーニングと民主的運営を軸にした全面的なクラブ活動が可能な総合体育施設となります。

また新たなグラウンドには人工芝を敷設し、砂塵問題への対策とします。

### 共学化をふまえた施設設計

共学化に伴い、防犯システムを兼ね備えた女子トイレ・女子更衣室の新設をはじめ、快適で安全・安心な学校環境の整備を行います。

### バリアフリーの施設設計

多目的トイレやエレベーターの設置をはじめ、バリアフリーな学校環境とします。既存の体育館を含めて、全ての建物を廊下でつなげ、生徒・教職員・来校者が校内をスムーズに往来できる新校舎となります。

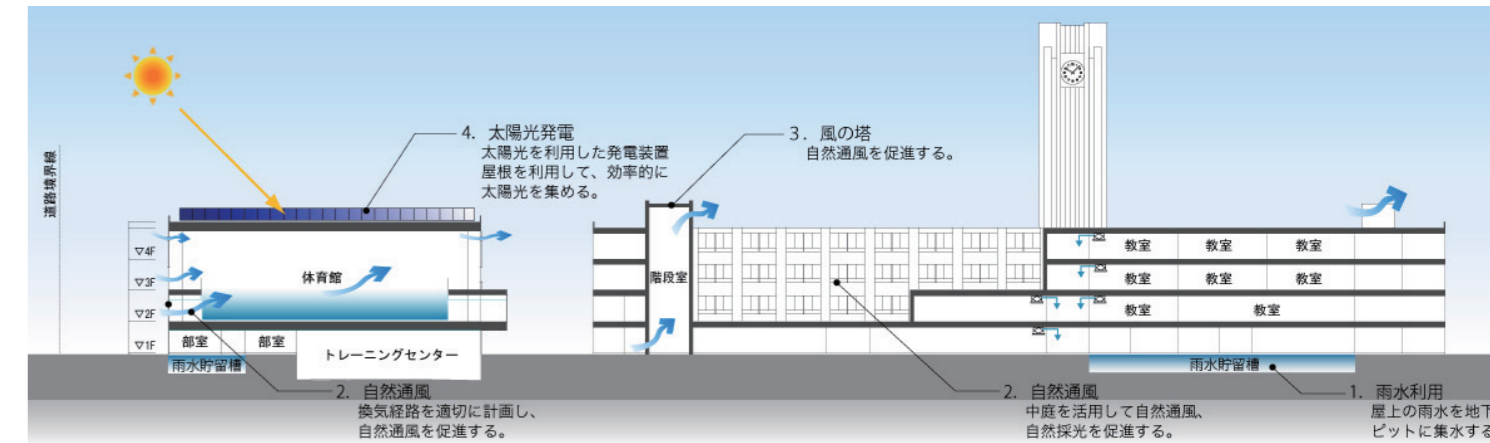
※棟名・施設名は全て仮称です。

### 環境を重視した施設と緑あふれる新キャンパス

新キャンパスでは、自然や環境の学習にもつながる施設の整備と共に、日々の学校生活に潤いと変化を与える植栽を行います。新校舎は自然採光、自然通風を積極的に活用するほか、太陽光や地熱など自然エネルギーを活用し、環境に配慮した施設づくりを行います。

### 自然エネルギー・環境教育を重視した「グリーンスクール」

- ・自然通風・自然採光・地中熱を積極的に活用した環境共生建築を実現します。
- ・総合的対策によりライフサイクル CO<sup>2</sup> (建物の生涯にわたる CO<sup>2</sup> 排出量) の約 25%削減 (省エネ法判断基準比) を目指します。
- ・環境共生システム、環境学習システムを導入し「見える化」することで豊かな体験、省エネ行動等を促します。



### 1. 雨水利用

屋上に降った雨水をビツ内雨水貯留槽に貯め、ろ過・減菌を行い便所洗浄水に利用します。

### 2. 自然通風・自然採光

普通教室は 2 面自然通風・採光が可能な設計を行い、体育館には上下に自然通風窓・換気スリットを設けるなど積極的に自然通風・採光を導入します。

### 3. 風の塔

階段室頂部に換気窓を設置し中間期には、ドラフト効果で共用部の自然通風を促進します。

### 4. 太陽光発電

屋上に 30KW の太陽光発電パネルを設置します。発電電力等の計測データは表示装置に表示すると共に、環境学習教材として利用できる計画とします。

### 5. 地中熱ヒートポンプ

年間を通じて温度がほぼ一定である「地中熱」(夏は冷たくて冬は暖かい) のエネルギーを利用して高いエネルギー効果で空調 (図書室) を行う予定です。

### 地域と共につくる環境整備

今後予定される川崎市による渋川の親水化事業に運動したキャンパスの緑化を推進します。武蔵小杉門周辺に地域の方々も利用できるような安らぎの空間を創出し、春には桜あふれる美しい渋川沿いの環境整備に貢献していきます。

また、新校舎建築を機にキャンパス全体を整備し川崎市の一時避難所要請を受け入れる予定です。地域用防災倉庫を兼ね備え、震災等の災害の際には、総合体育施設のアリーナを地域に開放できるよう準備を進めております。

設計監理会社 ■ (株) 類設計室

法政大学第二中・高等学校 ■ 住所 / 〒211-0031

川崎市中原区木月大町 6-1

■ 電話 / 044-711-4321

## 最新のニュースは HP で

二中高改革特設ページが開設されます。二中高改革の最新情報をご覧ください。

<http://co-ed.hosei2.ed.jp/>



「学校改革プロジェクト」特設サイトでは、プロジェクトの進捗状況や、最新情報を随時更新してゆきます。お使の RSS リーダーに登録することで、特設サイトの更新情報が自動的に届けられるので大変便利です。また、「Twitter」「Facebook」の共有ボタンも実装。プロジェクトの情報をお知り合いの方に伝えたいときはぜひご利用下さい。

## 12 グラウンド門

法政大学川崎総合グラウンドに面したグラウンド門。並木道が時計塔本館、武蔵小杉門へと続く。



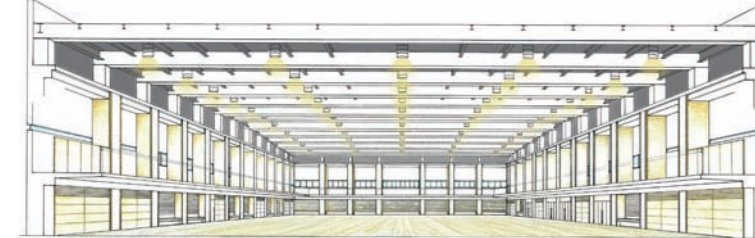
## 13 総合体育棟

力強くシャープなイメージの総合体育棟。バスケットボールコート 3 面の広さを持つアリーナの他、剣道場、体育室、屋外プール、そしてトレーニングセンターなど充実した施設構成。



## 14 アリーナ

総合体育棟の 2 階にはバスケットボールコート 3 面のアリーナを設置。周囲にはランニングトラックを設置。



## 15 トレーニングセンター

科学的トレーニングの拠点。充実した最新機器のトレーニングセンターを設置。



## 10 時計塔ストリート

川崎総合グラウンドに続く時計塔本館前のストリートは、時計塔を間近に見上げる緑豊かな交流空間。



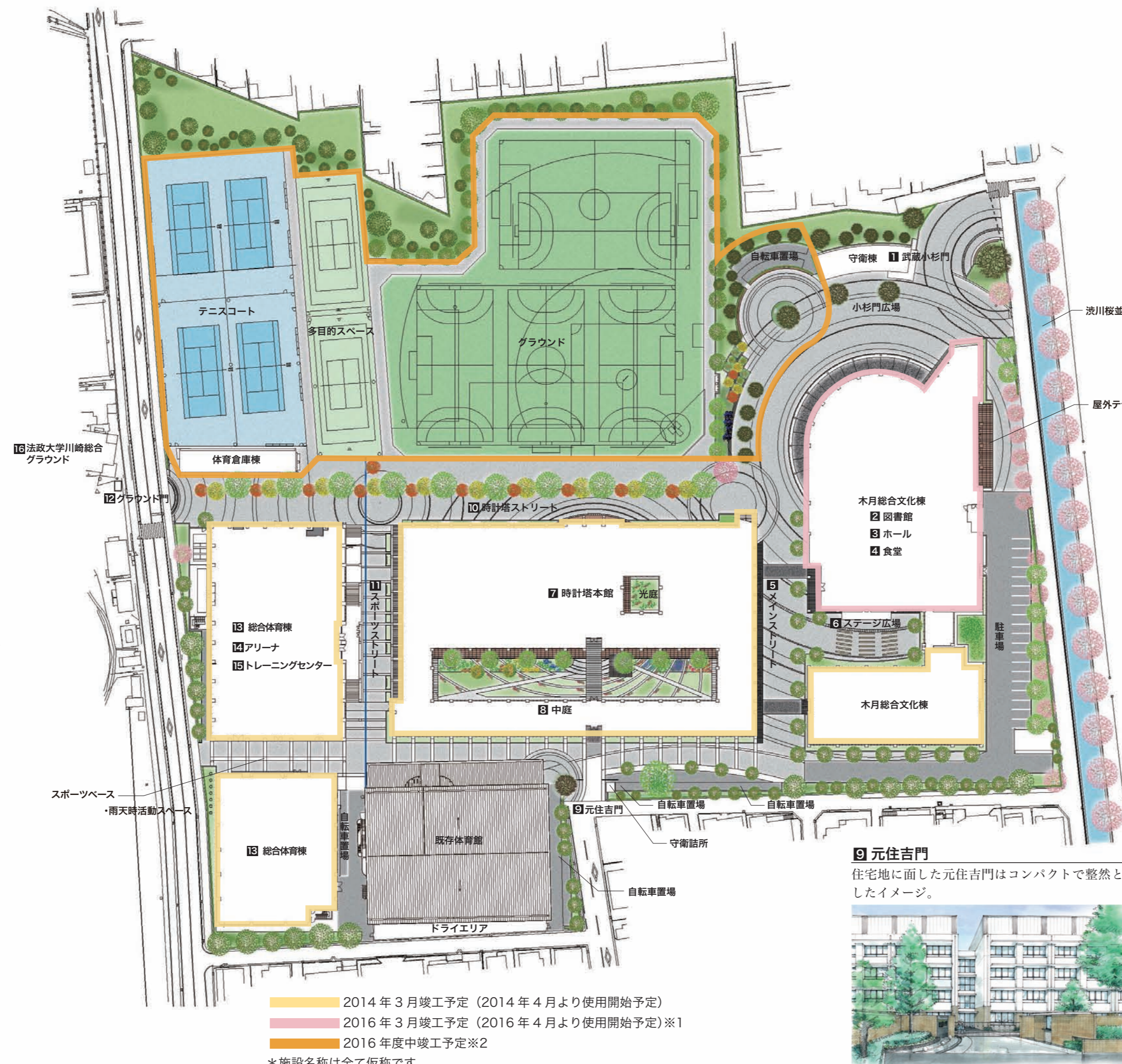
## 11 スポーツストリート

総合体育棟 2 階アリーナへの大階段、時計塔本館との間のストリートはスポーツを通じた開放的な交流スペース。



## 16 法政大学川崎総合グラウンド

中学・高校の体育授業をはじめ、行事やクラブ活動で利用している川崎総合グラウンドは、現在、全面人工芝工事を行っています。完成後は、二中高敷地と共にグラウンドの全てが人工芝となります。



## 3つのゾーニングによる充実した教育環境

新校舎は、大きく3つのゾーニングを行い、専門施設としての施設の充実を図り、様々な活動に応じた空間を創出します。

- 管理諸室を含めた普通教室ゾーン — 時計塔本館
- 図書館・実習教室・文化施設を中心とした総合文化ゾーン — 木月総合文化棟
- 各種体育施設を中心とした総合体育ゾーン — 総合体育棟

## 『波紋』モチーフによる外構デザインの統合

- ・外構部分の様々な活動拠点を中心とした波紋が広がる舗装デザイン
- ・波紋は広がり、重なり、相互に影響し共鳴し合う。
- ・生徒の様々な活動が影響し合い、新たな成果を生み出していく様を表現する。

**7 時計塔本館** 現時計塔の意匠を継承した「新時計塔」男女共学となる新たな二中高のシンボルとなります。旧時計塔のデザインを踏襲し力強い上昇感を発信します。新時計塔は、現在の3面の時計から4面の時計となります。また、時計の針のライトアップを検討中です。



## 8 中庭

時計塔本館の中庭は、豊かな緑や木陰のベンチで落ち着いた雰囲気での語らいのスペース。



## 5 メインストリート

時計塔本館の大階段、木月総合文化棟との間のメインストリートは、明るく賑やかな交流スペース。時計塔本館の各階には、メインストリートを見下ろす開放的なホールを配置。



## 1 武蔵小杉門

歴史と伝統を感じさせるタイル張りの門扉。大きな曲線を描く門扉は自由闊達な校風を表現。



## 2 図書館

木月総合文化棟1階の図書室は2層吹抜の円形プランで、武蔵小杉門から良く見える象徴的な学びの場。



## 3 ホール

木月総合文化棟3階にある1,300席を擁するホール。木質仕上げの落ち着いた雰囲気、式典や講演会など多目的に利用。ステージには可動式の音響反射板を設置し、音楽会での音響性能も重視したホール。



## 4 食堂

桜並木に大きく開かれた、開放的で見通しの良い食堂。

